

日本

永住的移民と
臨時的
入國後士着的に
なれる者の處理

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA
PROSPECTUS 25¢
INTERESTED A. S. F. CO., INC.
AN SECOND CLASS MATTER
K. ANIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR.....\$11.00
DAILY.....ONE MONTH.....\$1.00
SINGLE COPIES.....5 CENTS
BRANCHES
DENVER, FRESNO, LOS ANGELES,
PORTLAND, STOCKTON, SAN JOSE,
SACRAMENTO, VACAVILLE,
WATSONVILLE

The Japanese American News

SAN FRANCISCO, CALIFORNIA, THURSDAY, APRIL 16, 1925

JAPANESE EMIGRATION

So much has been said and written about the overpopulation of Japan and the consequent necessity of emigration that it seems desirable to hear the other side.

In "Japan's Message to America" Mr. Takekoshi, M. P., writes as follows:

"Korea has room for 10,000,000 immigrants, and Formosa for 2,000,000. So we have to-day both colonies and colonists, like England. We do not need more colonies than we already have. Any one who attempts to acquire more would act contrary to the sound Imperial policy, and for his own private adventure. Japan's Imperial policy to-day calls for the development of Korea and of Manchuria, as well as of Formosa, and Japan's colonial policy should not be otherwise than to fulfil her responsibility toward these lands."

Mr. T. Shidachi, formerly governor of the Industrial Bank of Japan, and now editor of the Financial and Economic Review, writes in Our World magazine as follows:

"The present condition of things in Japan justifies no emigration. To encourage it is to destroy the character of the emigrants and increase the chances of working up international troubles, keep, guide, and educate them at home, and get them to work for the development of the uncultivated fields. This is the best policy, and urgent withal. That there is still ample room left for further land reclamation indefinitely proven in the various publications from the Department of Agriculture and Commerce. The cultivated area is about fifteen per cent. Of the remaining land, a little under fifty per cent is in forests, a little under twenty-five per cent marsh and waste land, and the balance of ten per cent or a little less in prairie meadows. Of the countries of the earth, a smaller percentage of cultivated area is shown only by Chile, New Zealand, Sweden, Australia, and Argentina. The rest show a greater percentage, such as sixty-five for Denmark, fifty for Germany, fifty for Italy. Japan is a mountainous country, with various natural

barriers coming in the way of cultivation, but even allowing for this, the figure of fifteen percent in a country so full of complaints about over-population and shortage of food supply is nothing less than surprising. The above refers to Japan and the Hokkaido only, and it goes without saying that there is far greater room for cultivation, such as Korea and Formosa."

The editor of the English section of the Japanese American News would like to know whether it is possible to controvert the statements of Messrs. Takekoshi and Shidachi.

We invite articles from second-generation Japanese on "My favorite Hero, and Why." The best of such articles will be printed, provided they do not exceed two hundred words, are legible, and written on only one side of the paper.

CABLE NEWS FROM TOKYO

Special to The Japanese American News

The San Jose-Asahi baseball team was again defeated by Waseda University on April 11, by a score of 8 to 11.

In consequence of General Tanaka's refusal to enter the cabinet, coupled with Count Gonbei Yamamoto's tactical activity to promote combination of the Seiyukai and Seiyuohonto parties, the Japanese political situation is approaching turmoil, according to some politicians. It is understood that Premier Kato will consider General Tanaka's refusal to enter the cabinet as evidence of lack of sincerity on the part of the Seiyukai in the co-operation of three parties. Coalition may be doomed, and the present cabinet may dissolve.

Leading members of the Japanese Labor Federation have refused all of the proposals made by the present executive committees and are forming a new federation aiming at radical reform in the labor movement.

The Yokohama Specie Bank is quoting to-day \$41.50 on Y 100.00.

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.

415-429 Sansome St., San Francisco, Calif.

P. O. Box 3125 Tel. Kearny 1896

支店

内地東京

支店

横濱

名古屋

京都

大阪

福岡

熊本

福島

宮城

仙台

新潟

長崎

鹿児島

沖縄

那覇

鹿児島

加藤首相幣原外相等 歓迎の茶話會

花の下で歓迎會 滋澤子主催のセブション

宮女放火犯の舜海

西班牙語會話文法 班

報知新聞社出版

定價金八十仙

滋澤子九條武子夫人歓迎
本社日本見學團大持て

日系米市民に感興

九條夫人の午餐會

麗洋丸の代船

火を放つた谷川舜海

惨死した愛兒の法要念に外人

日本婦人橋會

アラス力行

商店

1800-4th St., Sacramento, California

(三) 二十一日 千九百四十四年四月十六日

(四) 二十二日 千九百四十四年四月十七日

(五) 二十三日 千九百四十四年四月十八日

(六) 二十四日 千九百四十四年四月十九日

(七) 二十五日 千九百四十四年四月二十日

(八) 二十六日 千九百四十四年四月二十一日

(九) 二十七日 千九百四十四年四月二十二日

(十) 二十八日 千九百四十四年四月二十三日

(十一) 二十九日 千九百四十四年四月二十四日

(十二) 三十日 千九百四十四年四月二十五日

(十三) 一月一日 千九百四十四年四月二十六日

(十四) 二月二日 千九百四十四年四月二十七日

(十五) 三月三日 千九百四十四年四月二十八日

(十六) 四月四日 千九百四十四年四月二十九日

(十七) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(十八) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(十九) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(二十) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(二十一) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(二十二) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(二十三) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(二十四) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(二十五) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(二十六) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(二十七) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(二十八) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(二十九) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(三十) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(三十一) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(三十二) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(三十三) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(三十四) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(三十五) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(三十六) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(三十七) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(三十八) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(三十九) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(四十) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(四十一) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(四十二) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(四十三) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(四十四) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(四十五) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(四十六) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(四十七) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(四十八) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(四十九) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(五十) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(五十一) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(五十二) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(五十三) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(五十四) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(五十五) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(五十六) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(五十七) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(五十八) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(五十九) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(六十) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(六十一) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(六十二) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(六十三) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(六十四) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(六十五) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(六十六) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(六十七) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(六十八) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(六十九) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(七十) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(七十一) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(七十二) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(七十三) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(七十四) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(七十五) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(七十六) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(七十七) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(七十八) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(七十九) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(八十) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(八十一) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(八十二) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(八十三) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(八十四) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(八十五) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(八十六) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(八十七) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(八十八) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(八十九) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(九十) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(九十一) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(九十二) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(九十三) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(九十四) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(九十五) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(九十六) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(九十七) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(九十八) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(九十九) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(一百) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(一百零一) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(一百零二) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(一百零三) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(一百零四) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(一百零五) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(一百零六) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(一百零七) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(一百零八) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(一百零九) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十一) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十二) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十三) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十四) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十五) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十六) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十七) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十八) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(一百一十九) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十一) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十二) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十三) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十四) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十五) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十六) 六月六日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十七) 七月七日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十八) 八月八日 千九百四十四年四月三十日

(一百二十九) 九月九日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十) 一月一日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十一) 二月二日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十二) 三月三日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十三) 四月四日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十四) 五月五日 千九百四十四年四月三十日

(一百三十五) 六月六日 千九百四十四年四月

獄中でお婆さんになります

誰が誓ひませうと舜海尼

奥田辯護士の戀文に答ふ

大成の奥田辯護士が、京都の獄心くるしく思ひます。けれども今は

中にある東京々梅屋町生れ放火尼僧海事長谷川桂子(さき)

へ熱烈な情をよせて、結婚を申しこんなことは、既報したが、

近信による、舜海はふるまこりへ居いた。

奥田さまお許しくださないませ私はさういつて控訴はいたしました

奥田辯護士の申し出るものはこの憲法の規定するものではありません

こみに對して舜海から直接のやうな手紙が奥田辯護士のも

のやうな手紙が奥田辯護士のも

物騒な帝都の玄関

文化を誇る都市生活の陰に

脅かされる市民生活

培はる恐ろしい罪の芽生む

脅かされる市民生活

警戒振り

今後は増員す

段り合ひの参考?

演習見學

兩院議員速二百六十名

で下るこ

たので貴族院のやまと見れて來

る

日本に引越して來た

喜鶴銘氏の一家

東京の主になる穀

娘東京の女學校へ

意

電話アカウト二〇〇四

随

中村竹之助

印刷職工

取調の上置置

犯人はブリキ

五年前のさ

申

あ

あなたさまはさう思ひます

す

桑港公歯科醫師

井戸本保之助

ボスト街一七二九

フカルモア九一〇

グリ街一五二六

日本病院

入院

産婦人科内外科小兒科

日本産院

喜鶴銘氏

東京の主になる穀

娘東京の女學校へ

意

電話アカウト一九〇四

桑港公歯科醫師

桑港公歯科醫師

北米病院

川口産院

北米病院

北米病院

北米病院

北米病院

北米病院

北米病院

森林醫院

上田產院

上田產院

上田產院

上田產院

上田產院

上田產院

上田產院

共和樓

祝餅並に赤飯堂

金門商會

共

和

樓

共

和

靈藥高麗人參

高麗人參精

三十日分三九九錢

五百日分五弗仙

九弗仙

九十五仙

九十五仙

九十五仙

元賣販手一米北

店藥堂春回井濱

J二二九二話電

番六百二十號三第府加

HAMAI-KAISHUNDO DRUG CO.

1206-3rd St., Sacramento, Calif.

特約販賣店

桑港大酒店

大坂藥店

羅府天賞堂

布市天賞堂

久保商店

桑原商店

日本藥店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

日本製造

菊川亭

常盤園

常盤園

常盤園

常盤園

常盤園

常盤園

あんま術

田中吉弘

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

桑港大酒店

奈落

用之



The Tomio Co. Department Store

200-202-204 East First St. 101-103 Weller St.

LOS ANGELES, CALIF.

今夏季流行の 新柄 反物

が澤山入荷致しました

目の醒める様な麗はしい
流行のファンシーリ

ボイール地
がヤード 七十五仙

より各種類揃ひましたから
是非御覧下さいませ

春の野

富尾の婦

オバ



御子供衆のブレースーツは富尾の品に限ります

A black and white woodblock-style illustration of a young boy in a sailor suit riding a large pug dog. The boy is holding a small wooden sword and has his right hand raised in a wave. A small doll is perched on the dog's back. The background is plain.